



**新幹線開業効果を最大化するために
～「青函産業振興」の取組みについて～**

新幹線開業効果を最大化するために

【平成27年度末(2015年度末)】
北海道新幹線 新青森・新函館北斗間 開業

北海道新幹線の開業により、首都圏や北関東、北海道とつながりの深い東北との交流が様々な分野で飛躍的に拡大するものと期待されます。

新幹線がもたらす効果を道南地域はもちろんのこと、北海道全体へ広げていくことが重要であり、「オール北海道」で開業効果を高めるために、北洋銀行は様々な取り組みを実施しています。



北海道新幹線開業を
みんなで盛り上げよう!!

2015年度末 新青森・新函館北斗間
2030年度末 新函館北斗・札幌間



北海道新幹線開業PRキャラクター
どこでもユキちゃん



新幹線開業効果を最大化するために

地域産業支援部

* 設置:平成21年6月

フードビジネス推進室

ものづくり・新事業推進室

観光振興室

青函産業振興室(H25/4月設置)

地方創生推進室(H27/2月設置)

新幹線開業効果を最大化するために

1. 青森銀行との連携協力協定

◆青森銀行と連携協力協定を締結

日付：平成24年12月26日(水)

◆目的

北海道新幹線の開業に伴い、産業及び地域振興に資する事業等の実施において連携・協力を行うことにより、青森、北海道の両地域の経済、地域の活性化に寄与する。

◆連携協力事項

- ① 両行及び両行取引先企業の交流促進
- ② 両行取引先企業の販路開拓支援
- ③ 両行取引先企業の海外事業展開支援
- ④ 青森、北海道における観光振興の推進
- ⑤ 青森、北海道への企業誘致の推進
- ⑥ 地域活性化のため、情報交換及び商品・サービスなどの協働開発の検討



[告知ポスター掲出(平成25年3月)
～本店及び道南各支店]

新幹線開業効果を最大化するために

2. 青森銀行との連携事業

(1) 青函食と観光プロモーション 札幌開催

◆「函館・青森フェア」試食会の開催

日付：平成25年3月26日(火) 会場：ホテルオークラ札幌

主催：北洋銀行、青森銀行

内容：ホテルオークラ札幌「函館・青森フェア」において、地域食材を活用したメニュー開発を両行がサポート。フェアに先駆け開催した試食会で両地域の「食」を広く発信した。



◆「青函圏観光プロモーション」

日付：平成25年3月26日(火)

会場：北洋大通センタービル

主催：北洋銀行、青森銀行

内容：「北洋大通センタービル」のBISSE地下スペースにて、函館、青森の観光情報を発信、両地域の特産品300セット(裂きイカ、りんごジュース)を配布した。



新幹線開業効果を最大化するために

◆「津軽海峡フェア・食と観光による地域活性化交流会」の開催

日付：平成27年3月17日(火)

主催：北洋銀行 後援：青森銀行

内容：ホテルオークラ札幌「津軽海峡フェア」に併せて、北海道新幹線の開業効果を道内全体に波及させていくことを目的に、札幌圏の事業者と青函圏の事業者との交流会を開催。

青函圏の食と観光事業者15社・団体が、食と観光に関わる札幌圏の事業者150名に向けて青函圏の魅力を発信しました。



津軽海峡マグロ女子会によるトークセッション



ホテルオークラ札幌による青函圏食材ビュッフェ



青函圏の事業者・団体による特産品の情報発信

新幹線開業効果を最大化するために

2. 青森銀行との連携事業

(2) 金融サービス

◆「ATMの両行相互無料開放」

対象となるATM

北洋銀行629か所1,275台

青森銀行253か所 386台

利用時間

平日 8:00～21:00

休日 9:00～17:00



無料開放開始日：平成25年4月22日

◆「青函活性化ファンド」の設立

青函地域の企業に対し成長資金の供給や経営支援を行う官民連携ファンドを青森銀行等と設立しました。

【設立日】平成26年5月26日

【第1号投資先】

函館の創業135年の老舗 株式会社五島軒

金額50百万円



函館七重町産と青森産の2種類のりんごを使った
ロールケーキ「五島軒 函館ロール」

新幹線開業効果を最大化するために

2. 青森銀行との連携事業

(3) 商談会

◆「ものづくりテクノフェアでの連携」

日付：平成26年7月24日(木)

会場：札幌コンベンションセンター

出展者数：196社・団体

来場者数：約4,300名

【取組内容】

青函連携ブースの設置。

青森銀行と連携した「青函連携ブース」を設置。

青森県よりものづくり企業・団体5社が出展。(公財)函館地域産業

振興財団が函館のものづくり企業の情報等を紹介。



新幹線開業効果を最大化するために

◆「インフォメーションバザールinTokyo2014での連携」

日付:平成26年9月4日(木)~5日(金)

会場:池袋サンシャインシティワールドインポートマートビル4F 展示ホールA

主催:北洋銀行、帯広信用金庫

【取組内容】

○青函連携コーナーの設置

北海道・青森銀行と連携した「青函コーナー」を設置。青森県より4社が出展。
道南の企業と一体となり、青函地域の食品を売り込む。

○青函連携観光マッチングの実施

青函広域観光推進協議会(道南+青森県)が参加



新幹線開業効果を最大化するために

2. 青森銀行との連携事業 (4) 事業者交流会

◆「経営者交流会」の実施

「北洋次世代経営セミナー」会員に対し、青森市の現地視察及び青森の経営者との交流会を行う「青函視察旅行」を実施した。

○1日目

日程：平成25年8月26日（月）

場所：青森市

内容：青森の経営者と交流会を開催

北海道新幹線開業後の観光振興等について討議

○2日目

日程：平成25年8月27日（火）

場所：北斗市

内容：新駅建設現場を視察

北海道新幹線関係者と情報交換



青函連携関連の取組み

2. 青森銀行との連携事業

(5) 北海道新幹線開業に関する調査実施

連携協定を締結している青森銀行の関連のシンクタンクである（一財）青森地域社会研究所と連携し、北海道新幹線・新青森-新函館（仮称）間開業に関するアンケート調査を実施（回答数：北海道側243社、青森側472社 平成25年9月実施）

◆ 目的

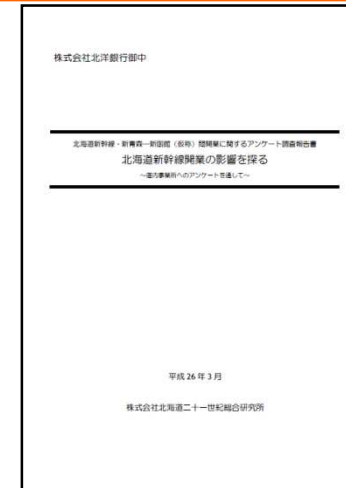
北海道新幹線開業による地域社会全体への影響や事業への影響等を把握し、青函圏の地域活性化、経済発展に寄与する

◆ 結果概要

- ・観光・ビジネス客増加への期待大
- ・東北企業との交流をチャンスと捉える企業が一定割合存在
- ・今後の課題は、観光資源掘り起こし、魅力発信、インフラ整備

◆ 情報発信

アンケート調査報告を機関誌「調査レポート」2014年4月号に掲載



アンケート調査報告書 平成26年3月



機関誌「調査レポート」2014年4月号

新幹線開業効果を最大化するために

3. 新たな連携の枠組み ～青函圏「食と観光」活性化連携～

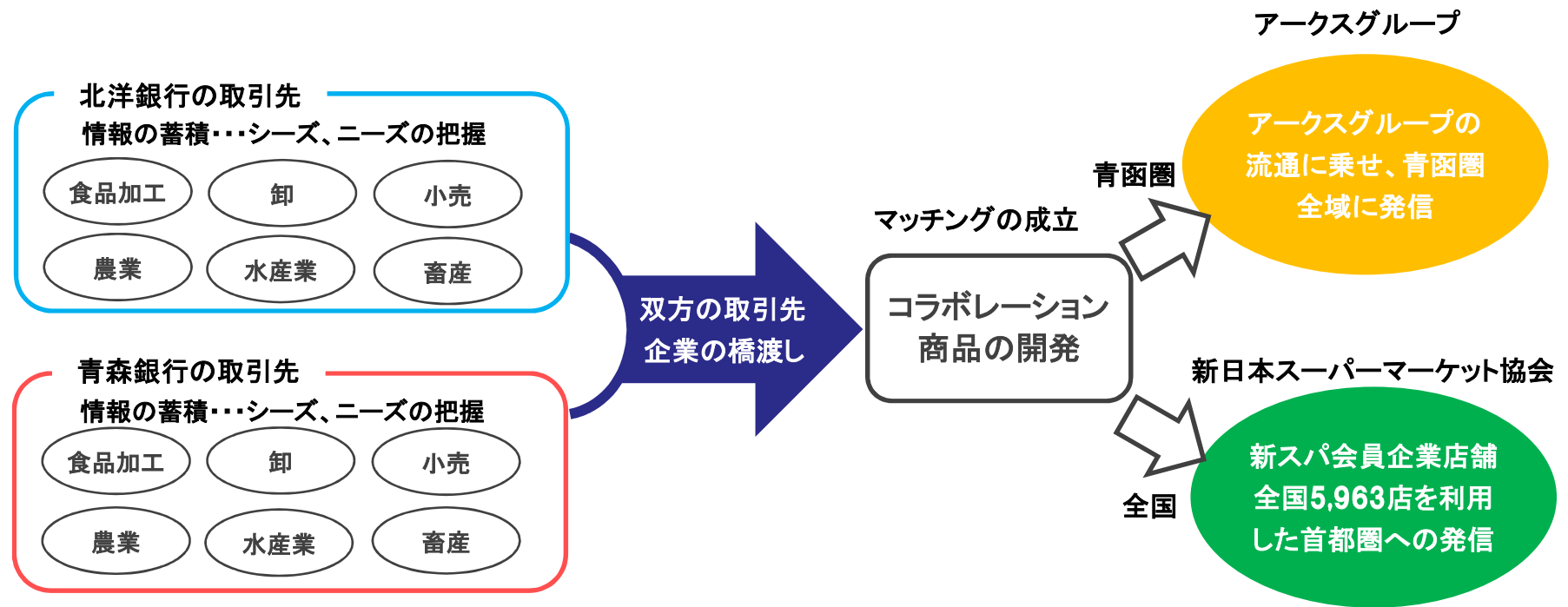
◆青函圏「食と観光」活性化連携の枠組みを4者間で構築（流通を絡めた新たな連携）

日付：平成25年11月1日（金） 共同記者会見

4者：北洋銀行、青森銀行、新日本スーパーマーケット協会、アークス

◆目的

青函圏の「食と観光」を切り口に積極的な連携・協力を行うことにより、青函両地域の産業交流を促進し、地域経済の活性化に寄与する。



新幹線開業効果を最大化するために

◆「青函連携商談会の開催」

【主催：(株)ユニバース】

日付：平成26年10月30日（木）

会場：函館国際ホテル

出展企業：道南の食品製造業者等 52社



【主催：(株)ラルズ】

日付：平成26年11月27日（木）

会場：日本アクセス北海道(株)札幌本社 プレゼンルーム

出展企業：青森県・道南の食品製造業者等 30社

ナショナルブランドメーカー 7社



◆「青函フェアの開催」

【青森県】(株)ユニバース全店（51店舗）

日付：平成26年11月23日（日）～25（火）

【函館】(株)道南ラルズ全店（17店舗）

日付：平成27年1月29日（木）～2月2日（月）

【札幌】(株)ラルズ全店（58店舗）

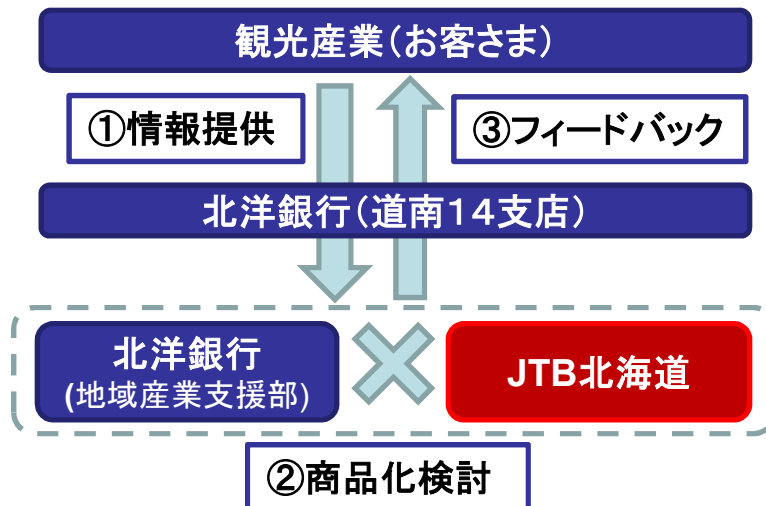
日付：平成27年1月29日（木）～30日（金）



新幹線開業効果を最大化するために

4. JTB北海道との連携事業

◆平成28年3月末の北海道新幹線開業を控える道南地域において、官民連携により地域の観光素材発掘から旅行商品化を通じて、観光振興、地域経済の活性化を目指す取り組み



- ①地域観光素材発掘
 - 観光素材発掘
 - 北洋銀行の道南14支店を通じて情報収集
- ②旅行商品化の検討
 - JTB北海道が商品化活用を検討
 - 必要に応じて実地調査
 - モニターツアー実施
- ③検討結果のフィードバック&情報発信
 - 情報提供先(お客さま)に、検討結果をフィードバック
 - 『道南観光・産業振興フォーラム』開催による情報発信



モニターツアー(工場見学&いか飯づくり体験)



モニターツアー(松前本まぐろ解体ショー付の昼食)



フォーラムによる情報発信

新幹線開業効果を最大化するために

◆「青函プロジェクトの実施」

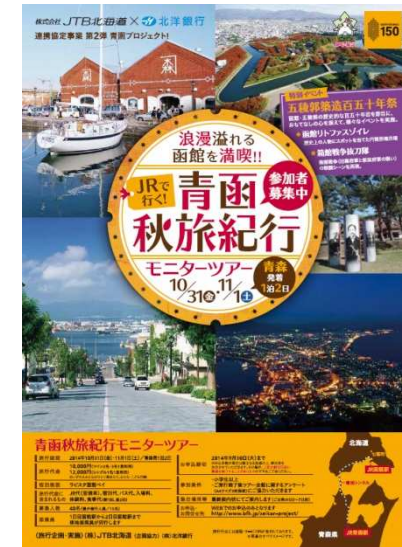
【実施概要】

平成25年度

- ・北洋銀行の道南14支店を通じて38件の情報収集し商品活用化検討
- ・平成25年12月に道南モニターツアーを実施
- ・平成26年1月に『道南観光・産業振興フォーラム』を開催

平成26年度

- ・北洋銀行の道南14支店を通じて51件の情報収集し商品活用化検討
- ・平成26年10月に青函(青森発着)モニターツアーを実施
- ・平成27年1月に『青函観光・産業振興フォーラム』を開催



モニターツアー(工場見学&塩辛作り体験)



モニターツアー(蔦屋書店見学)



フォーラムによる情報発信

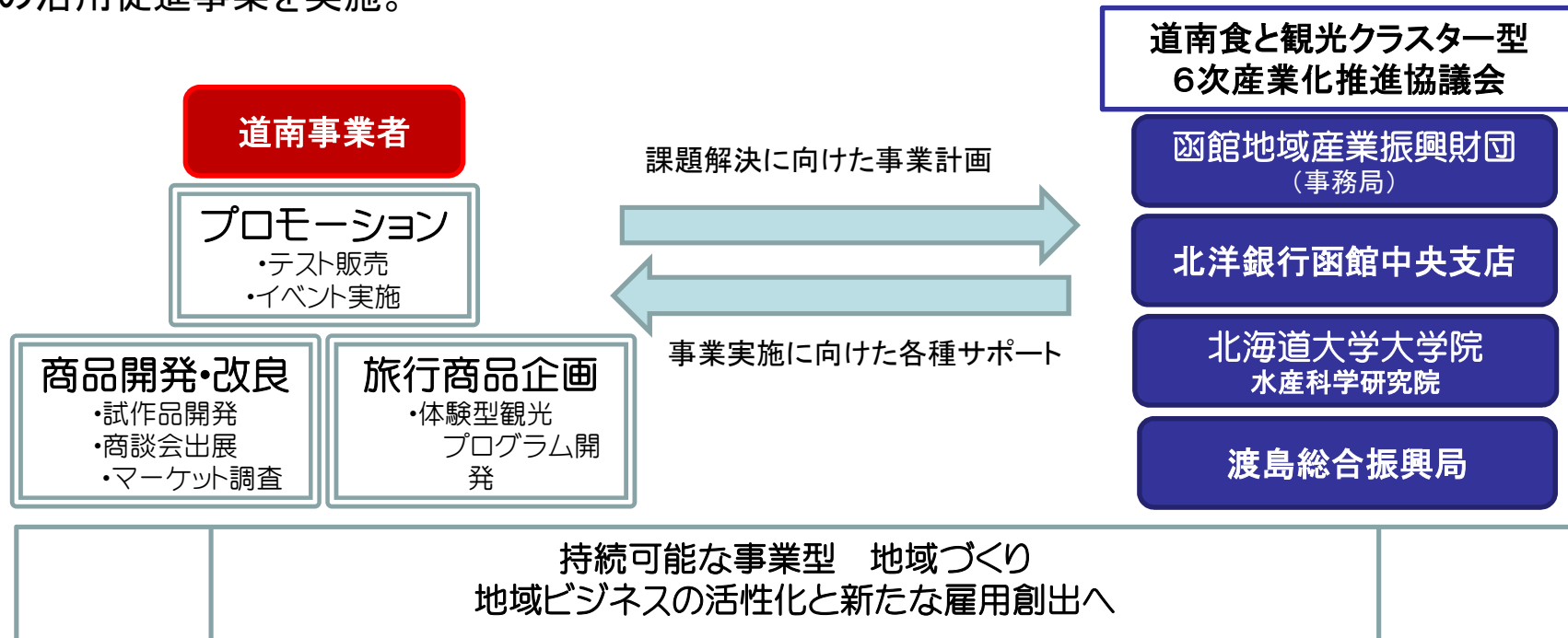
新幹線開業効果を最大化するために

5. 道南地域活性化に向けたプラットフォームづくり

◆「道南食と観光クラスター型6次産業化推進協議会」設立

道南地域の農水産物や観光資源を融合した新たな商品開発やビジネスの創出を促進し、地域資源の消費拡大と雇用創出に寄与することを目的として設立。それぞれの専門分野やネットワークを結集し事業促進をサポート。

H26年度事業は事業の担い手をアンテナショップ「フードカン」とし、道南の地域資源である「海藻」の活用促進事業を実施。



新幹線開業効果を最大化するために

◆「観光資源としての『海藻』の活用促進に向けたフォーラムの開催」

道南地域の食材を観光資源として活用促進を図るため、生産者、食および観光関連事業者、研究機関とをつなぐフォーラムを開催。

来場者100名に向けて、海藻の機能性や、観光資源としての可能性について情報を発信しました。

日付：平成26年7月2日（水）

会場：函館市国際水産・海洋総合研究センター

主催：北洋銀行函館中央支店、函館地域産業振興財団、日本政策金融公庫函館支店
道南食と観光クラスター型6次産業化推進協議会



北海道大学大学院水産科学研究院の安井院長、宮下教授による基調講演、函館がごめ連合代表の布村氏より、海藻を活用した商品事例を紹介。



函館の料理人による「海藻」活用料理の試食会を開催。

新幹線開業効果を最大化するために

◆海藻を活用した新商品開発・販路開拓支援

魅力的な新商品を開発するためにバイヤーやデザイナーによるアドバイス支援や、マーケティング調査を実施。販路開拓ノウハウを構築するためのサポートを行いました。

事業の担い手であるフードカンは地域資源であるガゴメ昆布を活用した新商品を開発。「がごめしゃぶしゃぶギフト」の企画開発を行い、開発したギフト商品のテスト販売を実施。

《サポート構成》

- ・函館地域産業振興財団 ⇒ 商談会、マーケティング調査支援、商品開発アドバイス
- ・北洋銀行函館中央支店 ⇒ 流通専門家紹介、マーケティング調査、展示会支援
- ・北海道大学大学院 水産科学研究院 ⇒ 開発商品アドバイス
- ・北海道渡島総合振興局 ⇒ 商談会・バイヤー紹介、テスト販売(仙台どさんこプラザ)紹介



アドバイザーと新商品に関する相談



開発した「がごめしゃぶしゃぶ」ギフト



テスト販売を行った仙台のどさんこプラザ

新幹線開業効果を最大化するために

◆海藻の収穫見学・体験ツアーの実施

収穫見学による海藻の良さや育成環境の素晴らしさの体感および海藻加工作業の見学・作業体験による商品プロセスを知ってもらう観光ツアーの可能性調査を実施。

日付：平成26年9月13日（土）

場所：函館市志海苔漁港周辺海域、
函館市漁村センター（函館市志海苔町269番地）

主催：函館ガゴメ連合、フードカン

《サポート構成》

- ・函館地域産業振興財団 ⇒ イベントの全体調整・アドバイス支援
- ・北洋銀行函館中央支店 ⇒ アドバイザーの紹介
- ・北海道大学大学院 水産科学研究院 ⇒ 体験イベントの調整



がごめ昆布の収穫見学



おぼろ昆布加工体験



新幹線開業効果を最大化するために

◆「産学官金連携セミナーの開催」

「住みたい、訪れたい、みなみ北海道にしよう！～これから何をすべきか～」をテーマに、「食」、「観光」、「ものづくり」分野の事業者による新たな協働のための連携・交流の場として実施。懇親会では、がごめ昆布をはじめとする「みなみ北海道の食材」によるビュッフェを提供しました。

日付：平成27年2月23日（月）

会場：函館国際ホテル

＜基調講演＞

藤井 純一氏（元北海道日ハムファイターズ社長）

＜第一～第三分科会＞

「食」「観光」「ものづくり」分野の分科会

主催：産学官連携推進協議会

国土交通省北海道開発局函館開発建設部

北洋銀行

北海道大学観光学高等研究センター

共催：北海道教育大学函館校

道南食と観光クラスター型推進協議会

ユースフル函館

函館地域産業振興財団

北海道中小企業家同友会函館支部

参加者：道南の自治体、民間事業者 170名

産学官金連携セミナー

参加無料

懇親会（会費二千円）
函館国際ホテルの
水軒総料理長
プロデュースによる
がごめ・みなみ北海道産
ビュッフェを提供！

住みたい、
訪れたい、
みなみ北海道
にしよう！
～これから何をすべきか～

日時：平成27年2月23日（月）
場所：函館国際ホテル

17:00 受付開始
17:30 開会・主催者挨拶
- 基調講演
- 基調講演終了・移動
- 分科会開始（各分科会の各会場にて）
- 分科会終了・分科会報告会
20:00 懇親会
閉会・挨拶

基調講演 藤井 純一氏
【元北海道日ハムファイターズ社長】
組織改革とモチベーションアップによる
「地域に密着した、チーム作りの経営戦略」

主催：産学官連携推進協議会（※1）、国土交通省北海道開発局函館開発建設部、北洋銀行、北海道大学観光学高等研究センター
共催：北海道教育大学函館校、道南食と観光クラスター型推進協議会（※2）、ユースフル函館、函館地域産業振興財団、
一般社団法人北海道中小企業家同友会函館支部